

生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 60

今月のテーマ

新社会人へのおせっかい「お金の管理！」

長いこと勉強し、ようやく社会人…。

はて、ちょっと待てよ…! ?これまでの長いことかかった勉強は、一体なんだったのだろうか?ある意味では、この日(就職)のために勉強してきた筈なのだが、社会人としての勉強は何処にあったのだろうか。その前に、社会人ってなんだ…! ?分かっていそうで分かっていないのでは?

広辞苑を開いたら、①「社会の一員としての個人」、②「実社会で活動する人」とあった。だんだん分からなくなってきた。ならば、今度は「社会」を広辞苑で調べると、①人間が…人々の関係の総体が一つの輪郭をもって…云々。ふうー、もっと分からなくなってきた。

あっちこっちと調べてみると、どうやら日本で言う「社会人」という語句は、諸外国では見当たらないらしい。一個人を客観的に捉える考え方は、日本語の奥深さを感じるなあ。感心ばかりしてられないし、辞書はややこしいので、自己流で解説してしまおう。

つまり、「社会」は「職場・地域・団体・組織」などで、様々な人が関わって構成されているものであり、「社会人」は学校や家庭から自立し、社会に参加し、その関わりの中で自身の役割や責任を担って生きる人のことと解釈しよう。そして、今回取り上げている社会人一年生の定義は、学校を卒業し就職を果たした方々に向けたメッセージである。

5月の某雑誌に、気になる見出しがあった。“わが社の新人は「就活までの人」でした”という記事だ。その内容を見てみると、人事部・面接官は、一流大学の出身の爽やかで元気な好青年という印象で、評価が上々だったという。しかし、入社してみると使えない人間で、面接時点がピークで、「就活までの人」だったというのだ。反面、学歴は決して高くはないが、入社後に輝きを増す「就活からの人」もいるという。さて、あなたは“どっち”! ?

言うまでもないが、大学入学自体が目的ではなかった筈だし、ましてや就活自体が目的でないことは言うまでもない。ようやくスタートに立てただけなのである。



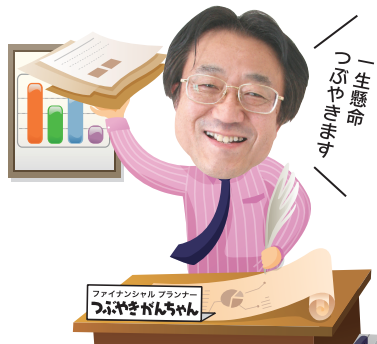
● 社会人としてのスタート

今月のテーマはお金の管理だった筈なのに、またまた脱線してしまいました。また、悪い病気が始まったと思って勘弁してほしい。お金の管理以前の問題であり、「就活までの人」などと書かれては悔しいので、もう少し脱線させてほしい。新社会人諸君、一緒に見返してやろうではないか!

最近の若者は常識がないとか、協調性がないとかで定義づけてしまう人もいるが、なぜそう言われてしまうのだろうか? 私も言い切ってしまう。社会が悪い…。本来であれば、子供が成長する中で、社会全体の良し悪しや、常識などの人間性そのものを養ってきていたように思えるのだが、果たして近年の社会環境は、その体を成しているのかはなほだ疑問なのである。

では、家庭での教育はどうであるかという点、これまた疑問符がつく。温泉好きの小生が、湯につきりながら人間ウォッチングをしていると、子供が他人に迷惑をかけているにも拘らず、注意もしないでいる光景を時々見かける。もしかしたら親も社会性に欠けているのか…?

近年の子供たちは、親子の関わり、友達との関わり、地域との関わりなどなど、明らかに希薄になっている。学校教育にあつては、先生たちに生徒の人間性や、社会人としての教育までを望むのは、繁忙な現場の状況を考えると、酷な期待かもしれない。であれば、社会性を身に付けるのはこれからであり、謙虚に社会から学ばせてもらう



齋藤 廣勝 (さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®ローティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

保険と暮らしの相談センター

今月の無料相談会重点テーマ
“自動車保険の内容チェック!!”

～自動車保険を見直していますか?～

① 補償内容のチェック	③ お車の使用目的のチェック
② 運転される方のチェック	④ 各種割引・特約のチェック

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート
 total life support 募集代理店
 〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
 ●営業時間：9:30～19:00 ●定休日：水曜日

TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp

詳細は
ホームページでも
ご覧いただけます。

姿勢が大事だ。

そういう意味でも、就職はゴールではなく、スタートだ。これからどう生きていくかで、社会人としての評価が変わってくる。社会の一員としての一翼を担い、社会から必要とされる人間を目指したいものだ。

● 使い癖の回避

先月号でも触れたが、稼いだ給料の使い道は、その全額を自分で決められる。自分の金を自分でどうしようが、俺の勝手だ、と言う声も聞こえてきそうだが、それではちよっと困る。

これまで、親の支援を受けながらの生活では、欲しいものがありながらも我慢・辛抱せざるを得なかったが、今度は自身の手で稼いだお金が定期的に入ってくる。ここで、これまで抑制されていた物欲が一気に解放され、あれもこれもと消費行動に走ってしまう危険性を持っている。最悪なのは、入ってくる先の給料を当てにして、高額商品をクレジットカードやリボ払いで購入し、多重債務に陥ってしまうことは先月号で書いたとおりだ。そうなってしまうと、債務の総額すら分からなくなり、行くところまで行ってしまいうことになる。(破産)

いかに自己をコントロール出来るかが、社会人としての常識の一つだ。同時に、お金の管理も計画的なコントロールがされなければならない。

● 今あるお金は、今使えるお金だけではない！

仮にクレジットやリボ払いなどのローン漬けにならなくても、今ある現金は今使って良いお金だけではない。将来に確実に必要とされる高額の資金もあるからである。これらの資金がその時点に準備されていないということは、ローン等に頼らざるを得ないし、スパイラル状態に陥ってしまいかねない。

将来に必要なとされる資金や欲しい物の多くは、ある程度見通すことができる。であれば、その必要な時期に合わせた計画的な積立などで、準備をする必要がある。使い癖がついてしまっ

スパイラルに陥ってしまうと、それを解消するのは至難を極める。そうなる前に、貯めてから買う、という積立のスパイラルを作って頂きたいものだ。

● 将来資金を見通す

ローンスパイラルの回避と、安定した家計を築くためには、まずは将来資金を見通すことから始めなければならない。人によって、将来の目的や目標は当然に異なるが、それぞれの人生観に基づいた人生を設計することに等しい。

表に、中期的な主な資金需要を挙げてみたので参考にしてほしい。この中で、マイホーム取得以外の項目は、一挙に発生する訳ではないし、事前準備が可能と考えられる。マイホーム取得に関しては、取得資金の20%程度は準備しておきたいのである。

資金項目	必要時期	金額	準備方法
マイカーの買い替え			定期積立
旅行			
資格・免許取得			
趣味			
冠婚葬祭			
結婚			
学式			
新居費用			
新婚旅行			
耐久消費財購入			
出産			
マイホーム取得			
合計			

もし、これらが準備出来ないまま資金需要が発生したら、どうだろうか？あなたの結論は……！

- ① 先延ばしにする。
- ② 親族からの資金援助に頼る。
- ③ ローンを組む。
- ④ 諦める。

今あるお金が、今使って良いお金だけではないことがお分かり頂けるだろうか。もっと先を考えれば、子供の教育資金や老後の生活資金などがある、何時から準備を始めるのが良いのか？少しでも早めに考え、コツコツと積み上げる体質づくりを心がけたい。時間を味方に付けることは、無理の少ない、確実な将来の礎を作ることになる。

● お金をコントロールする

所得が多ければ、沢山貯蓄が出来そうなものだが、ところがどっこい、所得の大小には必ずしも比例しない。結論を言うと、限られた収入から支出や貯蓄への振り分けを、いかにコントロール出来るかにかかっている。これがどっしり、なかなか上手くいかないのも現実だ。

今や、月並みな言い方かもしれないが、**収入ー支出＝貯蓄**だと、「のべつ幕無し」に使って、残ったお金が貯蓄では緊張感もないため、なかなか貯められない。先に必要な貯蓄部分を寄せてしまうことが必要で、**収入ー貯蓄＝支出**にする必要がある。支出が先にあつて、残った部分を貯蓄するのか？貯蓄(将来資金)が先にあつて、残った部分で生活するのか、さて貴方はどっち……！?

来月号は、基本的な金融商品の仕組みや、ローンの金利の仕組みについて考えてみよう。